

五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員からの意見一覧表（平成 29 年 8 月 9 日開催）

（１）五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン掲載事業の進捗状況

通番	事業名	意見内容
1	広域観光魅力情報発信事業	西北五観光物産協議会で作成した「ぐるっと奥津軽観光ガイドマップ」を見たことがないため、各観光協会へも送付すべきと考える。
2	七里長浜港活用誘客促進事業	青森港には、ねぶた時期やそれ以外の時期に豪華客船が寄港しているところであるが、七里長浜港も当初は豪華客船を寄港させる方針であったと認識している。この事業は、七里長浜港に豪華客船を誘致することが目的であるが、要望先の県の反応はどういう感じなのか。多額の経費をかけずとも豪華客船の誘致ができると思うので進めてほしい。
3	圏域特産品イメージ・ブランド力向上事業	「青森県観光物産首都圏フェア」の開催情報を当該フェア終了後に認知した。当該フェアに限らず、県外で開催されるイベント情報は、各団体（自治体、商工会、関連団体等）に周知し、皆んなで連携して取り組むべきと考える。
		西北五観光物産協議会と各市町の観光協会は同じような組織であるが、自治体からの情報が一律に伝わっていない状況にあるため、効率的な周知方法を検討すべきと考える。

（２）五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン（変更案）

通番	事業名	意見内容
1		成果指標について、具体的な数値で表しているものもあれば、そうでないものもある。目標は、できるだけ具体的な数値で示したほうが、それぞれの活動が加速していくと思う。
2		消防は五所川原市、鶴田町、中泊町で連携しているが、圏域にはもう 2 つ消防組織が存在する。つがる西北五広域連合の医療と同様に、つがる市、鱒ヶ沢町など全部を巻き込んだ方が効率がよいし、圏域にとってプラスになると思う。その他の事業についても、せっかく定住自立圏構想を進めているのだから、全市町で連携を強化していくべきである。
3		深浦町と鱒ヶ沢町が、文化庁が認定する日本遺産（北前船寄港地・船主集落）に認定されたので、共生ビジョンに記載してほしい。
4	適応指導教室連携事業	適応指導教室は現在、五所川原市、つがる市で実施しているが、広域利用ができない状況である。広域利用可能な適応指導教室とするためには、五所川原市とつがる市が市外の住民を受け入れる方法、その他の町に専門員を派遣する方法、町が独自に適応指導教室を設置する方法等が考えられるが、できるだけ自宅から近い場所で受け入れできるようにしてほしい。

通番	事業名	意見内容
5	五所川原地区消防事務組合の組織・機構の見直し	迅速な消火活動及び救急活動を維持するため、統合消防署のほかに、分署の設置は検討するのか。いずれにしても、効率的な消防体制を維持していただきたい。
6	圏域自治体職員合同研修事業	職員の人材育成は非常に重要と考えるが、K P Iの目標値である合同研修実施講座数が2講座だと少ないと感じるため、講座数や開催回数をもっと増やして、職員の研修機会の創出に努めていただきたい。